

養護教諭研修会での生理用品に関する意見等について

○ 体育健康教育室が生理用品の配布に関して養護教諭から聞いた意見等の概要は以下のとおり。教員の負担を考慮しながらトイレへの生理用品の設置を進める方針に対して、肯定的・否定的両方の意見があった。

- ・ 教員の負担を増やさず、生理用品をより利用しやすい形で設置できるよう工夫していきたい。
- ・ 生徒指導の観点から、トイレへの生理用品の設置はまだできていない。使い方の指導を行ったうえで説明書きをラミネートなどで綺麗に提示するなど計画していきたい。
- ・ 生理用品のトイレ設置を引き続き実施したうえで、月経についての相談にきめ細かく対応したい。
- ・ トイレに生理用品を設置して以降、保健室に必要時に取りに来ていた昨年度までと比べると、極端ではないが生理用品の減り方は早い。
- ・ 配布していただいた生理用品を女子トイレに設置してから、経血でスカートを汚す生徒が減った。
- ・ 保健室等での配布であれば、教職員が管理できるが、トイレに置くことで、誰にでも触れることができるため、衛生面や管理面で不安がある。
- ・ 保健室等で直接児童生徒に手渡しすることで、生理痛等の体調面や生理用品を取りにくる頻度により家庭状況の確認につなげるなど、その時の様子で児童生徒の困りを把握することができる。
- ・ 生徒指導上及び衛生上、誰にでも触れることができる場所への設置は望ましくない。
- ・ 保健室への相談が少なくなった。
- ・ トイレにあるから持ってこなくてもよいと考えるのではなく、自分の体調の管理や必要な生理用品を持つことの必要性を生徒に伝える必要がある。